

2024年度第1回 順天堂大学医学部附属順天堂医院
医療安全に関する外部監査委員会 実施報告書

日時：2024年8月23日（金） 16：00～17：30

場所：D棟7階会議室

外部委員：長尾 能雅 委員長（名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部 教授）
新井 悟 委員（東京都医師会 理事）
蒔田 覚 委員（蒔田法律事務所 所属弁護士）
新宅 正明 委員（株式会社ファーストリテイリング 社外取締役）
帆刈 祥弘 委員（社会福祉法人台東区社会福祉事業団 常務理事）

対応者：桑鶴 良平 院長
坂本 一博 医療安全担当副院長、医療安全管理責任者
米澤 和彦 事務部長
小林 弘幸 医療安全推進部長
有井 大介 医薬品安全管理責任者
中村 昭也 医療機器安全管理責任者
木暮 陽介 医療放射線安全管理責任者
高木 辰哉 医療安全機能管理室長
山本 宗孝 医療安全機能管理室副室長
松本 雅弘 医療安全管理者、医療安全管理部門専従薬剤師
鈴木 麻衣 医療安全管理部門兼任室員、総合診療科医師
原 厚子 医療安全管理部門兼任室員、麻酔科医師
高橋 智子 医療安全管理部門専従看護師
清水 久美子 医療安全管理部門専従看護師
宮尾 光 医療安全管理部門専従看護師
中村 裕樹 医療安全管理部門兼任室員、臨床検査技師
古田島 正樹 医療安全管理部門兼任室員、臨床工学技士
唐澤 沙織 医療安全管理部門専従事務員
高橋 潤平 医療安全管理部門専従事務員

議事内容：

1. 開会の辞
2. 業務状況報告
 - 1) 前回監査指摘事項に関する報告
 - 2) 医療安全管理責任者業務状況報告（2023年10月～2024年3月）
 - 3) 医療安全管理部門業務状況報告（同上）
 - 4) 医療安全管理委員会業務状況報告（同上）
 - 5) 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等実施状況報告（同上）
 - 6) 医薬品安全管理責任者業務状況報告（同上）
 - 7) 医療機器安全管理責任者業務状況報告（同上）
 - 8) 医療放射線安全管理責任者業務状況報告（同上）
3. 監査委員の講評および質疑
4. 閉会の辞

委員会内容：

➤ 2023年度下半期（10～3月）業務状況の確認

以下内容について、書面および口頭で業務状況の確認をした。

- 前回監査指摘事項に関する報告
- 医療安全管理責任者業務状況報告（2023年10月～2024年3月）
- 医療安全管理部門業務状況報告（同上）
 - ① 職種別インシデント報告状況
 - ② 所属部署別インシデント報告状況
 - ③ レベル別インシデント報告状況
 - ④ 職種×レベル別インシデント報告状況
 - ⑤ 当該部署経験年数（医師）×レベル別インシデント報告状況（ヒヤリハット除く）
 - ⑥ 当該部署経験年数（看護師）×レベル別インシデント報告状況（ヒヤリハット除く）
 - ⑦ 当該部署経験年数（その他）×レベル別インシデント報告状況（ヒヤリハット除く）
 - ⑧ 職種（1人あたり）インシデント報告状況
 - ⑨ 発生内容別インシデント報告状況
 - ⑩ レベル3b以上のインシデント発生状況
 - ⑪ 警鐘事例発生状況
 - ⑫ カテゴリー別死亡事例発生状況
 - ⑬ SE対策委員会・医療安全症例検討会開催状況
 - ⑭ 医療安全に資するモニタリング：75歳以上の外来患者転倒転落発生率、患者識別実施率
 - ⑮ リスクマネジメントニュースレター配付状況
 - ⑯ 医療安全に関する研修実施状況
 - ⑰ 日本医療機能評価機構報告状況
 - ⑱ RM小委員会活動状況
 - ⑲ 医療安全ラウンド実施状況
 - ⑳ 医療安全に係わる他施設との連携状況
 - ㉑ 職員への医療安全に関する指導・周知の実施状況
- 医療安全管理委員会業務状況報告（同上）
 - ① 出席状況
 - ② 委員会構成員によるラウンド実施状況
- 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等実施状況報告（同上）
- 医薬品安全管理責任者業務状況報告（同上）
- 医療機器安全管理責任者業務状況報告（同上）
- 医療放射線安全管理責任者業務状況報告（同上）

➤ 監査結果

◇ 前回指摘事項に対する改善状況

1. 資料構成の修正

委員長指示のもと、各種グラフの構成やレイアウト、報告順序などが修正された。順天堂医院の実施する安全施策の軸がよりよく視覚化され、目指すべき方向性も理解できたと考える。

今回の資料をもとに、薬剤師および臨床検査技師からの報告数が多いこと、また医師においては1年目および2年目からの報告数が多く積極的に医療安全管理部門から報告文化の働きかけをしていることが順天堂医院の特筆すべき点として、抽出された。インシデント報告の目的の1つである重大な出来事を早期に拾い上げるという点においては、おおむね機能していると考えられる。

また、今後さらなる分析すべき点としては、看護師の報告行動に関して、他病院の傾向と比較すると、ヒヤリ・ハットやレベル1（患者への実害はなかった）以下のインシデントの報告数、いわゆる中堅と言われる経験年数6~8年目の看護師からの報告数が少ないことがあげられる。これは、看護師の中である程度報告すべき対象を取捨選択するような安全文化成熟の表出によるものであるのか、もしくは改善活動や報告文化が一部適切に機能できていないことによるものかは、報告数のみでは分析・評価が難しい。

2. 外部監査委員会開催時の目的の明確化

年2回の開催目的を以下とされていた。

✓ 第1回（年度上半期開催）

前年度分までのデータを提示し、前年度の成果の振り返り。今年度の課題について外部委員より指導。

✓ 第2回（年度下半期開催）

当該年度の上半期分までのデータを提示し、第1回で抽出された課題の進捗状況、対応状況について報告し、その内容について外部委員より指導。

2024年度の目標として、「日本医療機能評価機構への14日以内の報告率100%達成」「入院患者の転倒転落発生の低減」をあげられていたが、明確な数値について提示がなかった。

数値については目標を定めモニタリングしていくことが重要である。

今後は年度目標を第1回に明確に提示いただき、第2回ではその達成状況をお伺いしたい。

3. 各種相談窓口の2023年度実績の提示

順天堂医院のホームページや院内掲示で紹介されている「患者さん相談コーナー」「医療福祉相談室」「患者・看護相談室」「がん治療センター」「お薬相談コーナー」「栄養相談」「臨床試験相談窓口」の2023年度実績について確認した。

対面式の「患者さん相談コーナー」および投書式の「皆さまの声」が患者からの苦情や要望を受け入れる窓口とのことだが、インシデントが潜んでいる可能性のある非常に重要なデータである。翌営業日中には内容をまとめ関係部署の責任者へ通知されており、当事者に事実確認の上、対応していた。また、いずれも全件医療安全管理部門と共有されており、適切な対応といえる。

「患者さん相談コーナー」「皆さまの声」に寄せられるご意見のうち、接遇などのソフト面に対するご意見とシステムやプロセスなどのハード面に関するご意見では異なる対応が求められる。ハード面に関するご意見のうち、複数寄せられる場合には、改善が必要であると考え、ご対応いただきたい。また、医療が進展するほど、相談内容も幅広く増えていくことが予想される。今後、各相談窓口がよりシステム化されることを期待したい。

◇ 評価すべき点

1. 患者相談窓口と医療安全管理部門の適切な連携状況が確認できた。
2. 重大な事故発生防止の体制づくりに努めていた。
3. 医療安全管理部門の業務が視覚化されていた。

◇ 改善すべき点（指摘事項）

1. 患者側からおよび職員側からの病院の評価に関するデータを提示いただきたい。
2. 年度目標について第1回に提示いただき、第2回に達成状況をお伺いしたい。

◇ 全体評価

特定機能病院としての医療安全管理体制が十分満たされていることが、確認できた。

以上